

令和7年 3月

みしまの森学舎 世田谷区立等々力小学校

校長 遠藤 雅孝

前年度の改善方策について実行した改善結果

1 あいさつをすすんでしている態度について

令和6年度の改善策	改善結果
<p>令和5年度の5・6年生のアンケートの結果は+15.8と大幅に改善し、児童の「あいさつ」への意識は高まったことが成果である。しかし、保護者の結果は改善したとはいえ、依然高い数値とは言えない。月に1回1週間行っている「あいさつキャンペーン」への参加を投げかけるなど、児童と共にあいさつの輪が広がるようにしていく。職員に関しても同様に、あいさつキャンペーンへの参加をできるように、児童看護体制を整えると共に、「率先垂範」の意識を高め、まずは大人からあいさつをすることにより、日頃からのあいさつの励行を推進する。「あいさつ・返事・お礼の言葉」の合い言葉は、令和6年度も引き続き児童、保護者、地域に発信し、改善できるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつキャンペーンの充実 ○「あいさつ・返事・お礼の言葉」の定着 ○教職員による率先垂範 ○計画委員会・委員長会議（名称仮）によるあいさつの輪を広げる運動 ○PTA、おやじの会、保護者への協力依頼 	<p>「あいさつをすすんでしている」は、児童 R5 82.5% ⇒ R6 82.1% 保護者 R5 64.6% ⇒ R6 64.8% と横ばいである。しかし、あいさつキャンペーンの時期だけではなく、高学年の児童を中心に、自主的なあいさつ運動をする子たちがいたり、今年度から発足した委員長会議で議題となり、それぞれの委員会があいさつ推進へ向けた取組を充実させたり、子どもたちのあいさつの輪を広げる意識は高まっている。</p> <p>「あいさつ・返事・お礼の言葉」の合い言葉については、給食の放送で子どもたちから「できますか？」と話題にするなど、意識して生活するようになってきた。</p> <p>教師の率先垂範やあいさつ運動推進会議の委員との連携、PTA、おやじの会の協力を得ることができた。</p> <p>取組に対して成果を得ることができた。引き続き、各家庭での協力が必要である。</p>

2 ホームページ更新について

令和6年度の改善策	改善結果
<p>毎日1回以上は、学校日記の更新を行ったことにより、閲覧数が上がり、保護者や地域に、子どもたちの頑張りや成長した様子を紹介することができた。来年度も子どもたちを褒めるきっかけや、家庭での話題の材料となるようにホームページの充実を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年・専科で週に1回の学年の児童に関する記事の更新。 ○管理職やICT担当を含め1日最低1回は児童に関する記事と給食について更新する。 ○学校便りに二次元コードを添付して閲覧しやすくする。 ○本校の重点目標3 地域と協働した教育を今後も推進し、その様子をHPでも掲載する。 	<p>一日最低1回の学校日記更新、2次元コード掲載は実施できた。保護者「HPやメール等で保護者に情報提供している。」肯定的評価93%、地域「学校のHPに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。」97%となった。引き続き「分からない」が多いことが課題である。</p> <p>また、PTAによるInstagramの運用開始も行われ、情報発信に関しての成果として挙げられる。</p>

3 キャリア教育・学び舎について

令和6年度の改善策	改善結果
<p>各種行事、幼保小交流、異学年交流、日々の学習等全てがキャリア教育につながるという職員の意識改革のもと、キャリアパスポート等を活用し、せたがやキャリア未来・デザイン教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアパスポートの更なる活用 ○幼保小交流の継続 ○あいさつ運動、学び舎生徒会以外のみしまの森学舎東深沢中生徒と児童の直接交流の機会を作る。 ○保護者や地域の方々をゲストティーチャーとしたキャリア教育を6年生で行う。ご自身の勤務される職業について子どもたちに、その内容ややりがい等について講義していただく授業を行う。 ○アプローチ・スタートカリキュラムを活用して幼保から小への滑らかな接続を推進する。 	<p>○学び舎を中心とした交流会を今年度も実施できた。今年度は参加する保育園も増え、年長と1年生、年長児と5年生とすてきな交流をすることができた。また、校内でも異学年交流を多数実施することができ、キャリア・未来デザイン教の推進につながった。また、幼保から小への滑らかな接続の機会となった。しかし、アンケート項目上の数値の改善には至らなかった。</p> <p>○学び舎生徒会は年間を通して実施できたが、学年全体が交流する中学校訪問はできなかった。来年度実施できるようにしていく。</p> <p>○道徳地区公開講座では、パラリンピックの伴走者のお話を聞くなどの機会を作れたが、様々なお仕事について保護者等にお話を聞く機会を設けることができなかった。次年度は実施できるようにしていく。</p>

4 体力づくりについて

令和6年度の改善策	改善結果
<p>子どもたち自らが体を動かしたい。と思えるように、体育科の研究を推進したり、休み時間の体育向上の取組を充実させたりしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内研究の研究教科を体育とし、運動に主体的に取り組む児童の育成を図る。 ○令和6年度引き続き、短なわ・マラソン・長なわ週間等、友達と楽しみながら体力向上を図れる機会を作る。 	<p>○日本体育大学 白旗 和也先生を講師にお迎えし、ドリームパートナースクールの担当校として体育の研究を推進した。また、教師主導の取組だけではなく、運動委員会児童企画の楽しい運動イベントも多数開催された。</p> <p>○「休み時間校庭で元気に遊んでいる。」R5 72.7% ⇒ R6 56.2%と肯定的評価が下がった。その要因としては全員絶対に外遊びを強制しない指導に転換したことや、異学年交流会や委員会活動などが充実し、その準備を休み時間に行うことが多くあり、充実した休み時間過ごし方にはなっている。</p>

5 教科「日本語」、食育指導、図書指導において

令和6年度の改善策	改善結果
<p>限られた時間での指導を充実させると共に、他教科等とのカリキュラムマネジメントを行い、より良い指導につなげていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラムマネジメントを行い、美しい日本語についての取組を充実させる。 ○絵本とのコラボメニュー等を行い、食育指導を充実させる。 ○図書司書と連携や、PTAサークル「とどろき絵本 	<p>○日本語や国語の学習を取り入れた学芸会の取組が行われるなど、日々の学習を行事にも活かすことができた。</p> <p>○「本が好き」または「本を読むのは楽しい」の項目がR5 84.4% ⇒ R6 67.0%と肯定的評価が下がった。低学年ではPTAサークルの「とどろき絵本の国」の取組などがあり、読書に親しむ機会は充実している。高学年の児童の読書への意識向上が課題である。</p>

の国」の読み聞かせ等を行うことにより、図書指導を充実させる。

○保護者「思いやりのある言葉で話している。」は微増にとどまった。引き続き道徳や特別活動日々の学級指導の中で更に改善していく。

6 その他

令和6年度の改善策	改善結果
○周知の方法を改善すると共に、PTA役員の皆さんによる協力も得ながら、学校関係者評価の回答率の向上に努める。	○すぐーる等でのご連絡の他に、実施の有無を調査する取組を行った結果。88.8%まで回収率を向上させることができた。